

あなたと  
議会を  
つなぐ情報誌

# 大網白里 議会だより

## 第186号

発行 大網白里市議会  
〒299-3292  
大網白里市大網115番地2  
電話 0475 (70) 0390  
発行人 大網白里市議会議長  
小金井 勉



### 全国市議会議長会 永年在職議員表彰

本市議会から在職20年以上の特別表彰及び在職10年以上の一般表彰にて6人の議員が受章されました。

左から 小金井勉議長 (一般表彰)、北田宏彦議員 (一般表彰)、田辺正弘議員 (一般表彰)、岡田憲二議員 (特別表彰)、堀本孝雄議員 (一般表彰)、石渡登志男議員 (一般表彰)

### 令和5年

# 第2回定例会が 開催されました

令和5年第2回定例会は、5月31日から6月20日までの21日間の会期で開催されました。

本定例会では、市長提出の議案11件と請願2件、陳情4件の審査を行いました。

議案は、10件を原案のとおり承認・可決、残る1件を否決し、請願2件を採択、陳情2件を採択、残る2件は不採択としました。

また、意見書提出に関する委員会の発議案2件の提出があり、全て原案可決としました。

一般質問は、2日間行われ、会派代表質問の4会派・9人と個人質問の5人が登壇しました。

詳細は、2ページ以降でご紹介します。



演技前の選手に激励をする議長



3位入賞した選手の皆さん

去る6月18日に山武市で開催された第45回山武消防ポンプ操法大会に、来賓として市議会を代表し小金井議長が出席。本市代表の第4分団第7班(四天木9区・10区)の皆さんを阿井県議、金坂市長、北田前消防団長とともに激励しました。選手の皆さんは、日頃の訓練の成果を十二分に発揮され、見事第3位入賞を果たし、個人表彰も受章されました。

### 市議会HPのご案内

本市議会では、開かれた議会の取り組みとして、会議録、行政視察報告書、政務活動費の報告などをHPにて公開しております。

大網白里市HP内の市議会HPをご覧ください。また、QRコードからもアクセスできます。



### 主な内容

- 議案等の概要を紹介 ..... 2
- 【常任委員会レポート】 委員会の審議内容を紹介 ..... 3
- 【市政に対する一般質問】 4会派9人 個人5人が登壇! ... 4~8
- 採決結果一覧など ..... 8

# 議案などの概要をざっくり紹介します

令和5年第2回定例会で話し合われた概要です。採決結果は8ページでご確認ください。



●議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(大網白里市市税条例等の一部を改正する条例)

**概要** 地方税法等の一部を改正する法律施行に伴い大網白里市市税条例の一部改正を市長が専決処分したこと、議会に対して当該処分の報告および承認を求めるもの

一定の要件を満たすマンションのうち長寿命化に資する大規模修繕工事を実施した場合における固定資産税の減額措置、軽自動車税(種別割)に係るグリーン化特例の3年間延長など

※「専決処分」とは、地方自治法の規定に基づき、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに、議会の議決を経ることなく市長が処理することができること。この場合、直近において開かれる議会で処理内容を報告の上、その承認を求めることが必要です。

**概要** 物価高騰対応に係る補正予算など  
約2億2,850万円の増額

**主な内容**

- 低所得世帯支援給付金事業……約1億6,000万円
- 物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯に1世帯当たり一律3万円を支給
- 新型コロナウイルスワクチン接種関係事業……約3,450万円
- 実施費用に係る不足分を計上
- 市制施行10周年記念事業……約90万円

市制施行10周年を記念したシティプロモーション(テレビ番組収録誘致)に必要な費用を計上

●白里地区コミュニティバス運行事業……約450万円

運行継続に必要な費用を計上

●社会福祉関係国庫補助金返還金……約2,860万円

令和4年度国庫補助金の確定に伴う返還金

●議案第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度大網白里市一般会計補正予算(専決第1号))

**概要** 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に係る補正予算(約4,890万円の増額)

**主な内容**

- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業……約4,890万円
- 低所得の子育て世帯に児童1人当たり一律5万円を支給

●議案第3号 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第1号)

**概要** 令和6年4月に瑞穂幼稚園に統合される大網幼稚園について、条例中の規定を整理するもの

●議案第4号 大網白里市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

**概要** 地方税法施行令の一部改正に伴う改正

課税限度額の引上げや軽減判定所得の引き上げなど

●議案第5号 大網白里市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について

**概要** 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第2号)

**概要** 物価高騰対応に係る補正予算(約2億2,990万円の増額)

**主な内容**

- 元気回復クーポン事業……約1億6,900万円
- 市民生活の応援と地域経済の回復のため、市民1人当たり一律3,000円分のクーポン券を配布
- 子どもの成長応援臨時給付金支給事業……約3,560万円
- 習い事や体験活動等に係る費用負担軽減のため、小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒

●議案第6号 大網白里市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**概要** 個人番号を利用する事務のうち、市が独自で実施する事務を追加するもの

●議案第7号 契約の締結について

**概要** 市役所本庁舎の耐震構造等改修工事に係る契約を締結するもの

契約金額 2億4,635万4,394円

片岡工業株式会社

●議案第8号 財産の取得について

**概要** 消防自動車1台を購入するもの

契約金額 2,557万5,000円

日本機械工業株式会社

1人当たり一律1万円を支給

●給食費負担軽減対策……約2,500万円

市内の保育・教育施設に対して給食費の負担軽減対策を講じる

●議案第10号 損害賠償額の決定について

**概要** 交通事故に伴う損害賠償責任について、地方自治法に基づき議決によってその額を決定するもの

●議案第11号 市長等の給料の特例に関する条例の制定について

**概要** 職員の懲戒処分に伴い、管理監督責任として市長と副市長の給料を1か月間、月額から10分の1減額するもの

●請願第1号 一国における2024年度教育予算拡充に関する意見書一採択に関する請願

**趣旨** 子どもたちの健全育成をめざし豊かな教育を実現させるため、政府や関係行政官庁に対して、2024年度の国の教育予算充実を求めるはたらきかけを市議会に求めるもの

●請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

**趣旨** 義務教育の財政的保障である義務教育費国庫負担制度について、制度を堅持し、対象外経費拡大や負担割合縮減がこれ以上行われないよう、2024年度の国の教育予算編成に当たり政府や関係行政官庁に対してはたらきかけよう市議会に求めるもの

●陳情第3号 J R永田駅の構内トイレの利用再開に関する陳情

**趣旨** J R永田駅構内トイレの廃止について、地域の玄関口である

●陳情第4号 入札監視委員会を設置してもらうための陳情

**趣旨** 議員は、公共調達における入札の透明性、競争性、適正施工の確保の効果が期待できる入札監視委員会を市に設置することについて、有権者に選ばれた者の責務を果たすためにも、市に対して求めてほしい

●陳情第5号 小中学校の学校給食費の保護者負担無償化を求める陳情

**趣旨** 小中学校の学校給食の保護者負担の無い完全無償化について、憲法第26条第2項に掲げる理念、また全国や千葉県内で実施さ

●陳情第6号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第7号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第8号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第9号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

駅のサービス低下が将来的な市の人口減少対策に悪影響があることや有事において利用客や近隣住民への多大な影響が懸念されることから、当該トイレの一刻も早い利用再開に向け、市がJ R東日本に対してはたらきかけや必要な支援を行うよう要望する

●陳情第5号 小中学校の学校給食費の保護者負担無償化を求める陳情

**趣旨** 小中学校の学校給食の保護者負担の無い完全無償化について、憲法第26条第2項に掲げる理念、また全国や千葉県内で実施さ

●陳情第6号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第7号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第8号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第9号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第10号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第11号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第12号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第13号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第14号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

●陳情第15号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情

**趣旨** 色彩絵画鑑定が出来る人をスクールカウンセラーとは別に教室に配置してほしい

開催日	開始時間	摘要
9/1(金)	10:00	第3回定例会 開会 ・行政事務報告、議案上程ほか
9/6(水)	10:00	一般質問
9/7(木)	10:00	一般質問
9/8(金)	10:00	一般質問
9/13(水)	10:00 13:00	議案質疑・委員会付託 総務常任委員会
9/14(木)	10:00 13:30	文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会
9/15(金)	9:00	決算特別委員会
9/19(火)	9:00	決算特別委員会
9/20(水)	9:00	決算特別委員会
9/27(水)	10:00	第3回定例会 閉会 ・委員会審査報告、採決ほか

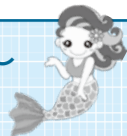
※上記はあくまでも予定であり、変更となることもあります。



# 常任委員会審査レポート

～各委員会に付託された議案・陳情～

※議案等の概要等は2ページでご確認ください。



## 総務常任委員会

総務常任委員会は、6月12日に開催され、付託された議案6件と陳情2件の審査を行いました。

議案は、議案第4号と議案第6号を賛成多数で、議案第3号、議案第8号および議案第9号を賛成総員により原案可決とし、議案第7号は賛成者がなく原案否決としました。陳情2件は、いずれも賛成総員により採択となりました。

●議案第3号 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第1号) **結果：可決**

Q&A **こんな質疑がありました**

問 はまバスの平均乗車数は。

答 平均は2、1人である。

問 はまバスについて、昨年480万円の特別交付税措置があったが、今年度の見込みは。

答 今年度も同程度を見込んでいる。

●議案第4号 大網白里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について **結果：可決**

Q&A **こんな質疑がありました**

問 影響額が525万円とのことだが、1世帯の影響額は割り返せばよいか。これが年間の平均負担額ということか。

答 平均であればそういう形になる。

●議案第6号 大網白里市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について **結果：可決**

Q&A **こんな質疑がありました**

問 手続の簡素化に際して、本人に確認し同意を得るのか。

答 同意を得て行うが、同意を得られない場合は、書類の添付が必要となる。

●議案第7号 契約の締結について **結果：否決**

高校生や大学生がいる世帯であって、そこへ支援を行う議論はしたのか。

答 高校生、大学生に限定した具体的な議論には至らなかった。

●陳情第3号 JR永田駅構内トイレの利用再開に関する陳情 **結果：採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●電車の中にトイレがあると、災害時、緊急時に駅にトイレがあるのは精神的なものも含めて安心である。市としての支援を再検討し、再開に向けて進めていただきたい。

●陳情第4号 入札監視委員会を設置してもらうための陳情 **結果：採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●国において、積極的に入札の適正化に努めよという指針があることを踏まえ、賛成をしたい。  
●入札適正化に関する法律もでき、本市においても当然進めなければいけないと考える。

●公共工事の入札および契約手続きにおいて公平かつ適正、透明性を確保することからも、将来的に第三者のチェックは必要。

委員長 北田 宏彦  
副委員長 土屋 忠和  
委員 引間 真理子  
委員 山下 豊昭  
委員 蛭田 公二郎  
委員 黒須 俊隆

## 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は、6月13日に開催され、付託された議案1件と、請願2件および陳情2件の審査を行いました。

議案については、賛成総員により原案可決とし、請願2件については、賛成総員により採択となりました。

また、陳情2件は、陳情第5号が賛成少数により、陳情第6号が賛成者なしのため、それぞれ不採択となりました。

●議案第5号 大網白里市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について **結果：可決**

Q&A **こんな質疑がありました**

問 大網幼稚園と瑞穂幼稚園が統合し、場所はどこになるのか。

答 大網幼稚園を廃止して、瑞穂幼稚園に統合となる。

問 現在、大網幼稚園、瑞穂幼稚園には何人の園児がそれぞれ在籍しているか。

答 大網幼稚園は39人、瑞穂幼稚園については26人である。

問 今回の統合に際し、認定こども園についての可能性も検討されたのか。

答 平成30年8月に「公立幼稚園・公立保育所のあり方について」を策定する中で、令和3年6月に統合する方針を決定していた。

●請願第1号 「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願 **結果：採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●GIGAスクール構想の推進について、市や郡内だけでも6割程度は進んでいるという話を聞いている。今後も進捗状況を追跡していくことが非常に大事である。

●請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願 **結果：採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●願意は妥当であり、本年も請願として意見書を出すべき。

●陳情第5号 小中学校の学校給食費の保護者負担無償化を求める陳情 **結果：不採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●物価高騰のなか大変であるが、本市も補正予算を組み国・県と負担軽減をしている中で、多少の受益者負担は仕方がない。保護者の皆さんにもこの辺はご理解いただきたい。

●陳情第6号 少子化の前にイジメ自殺者の対策に関する陳情 **結果：不採択**

Q&A **こんな意見がありました**

●本市にはいじめ防止基本方針もあり、教育委員会もしっかりとこのいじめに対して取り組んでいるので、この陳情には疑問点がある。  
●色彩絵画鑑定で判定ができると言っているが、今ひとつよくわからない。実績があるのか不確定であり、その取り組みはどうかと思う。

委員長 森 建二  
副委員長 小倉 利昭  
委員 林 正清子  
委員 秋葉 好美  
委員 堀本 孝雄  
委員 宮間 文夫

## 傍聴制限の終了について

市議会では、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更に伴い、今まで実施しておりました傍聴券交付時の検温を終了し、傍聴席に設置しておりました飛沫防止シートを撤去することとしました。

また、マスクの着脱は、傍聴される方個人の判断を尊重することといたしましたので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、手指消毒用のアルコール設置は引き続き行いますので、感染症の感染拡大防止にご協力頂きますようお願いいたします。

本会議のようすはYouTubeで中継しておりますので、パソコン、スマートフォンなどをお持ちの方は、ぜひご視聴ください。



## 請願・陳情の受付

請願・陳情は、議会事務局において随時受付しています。

議会に提出された請願・陳情は、その内容を所管する常任委員会等の審査を経て、本会議で採択の可否を決定します。

なお、本会議での採決の結果は、提出者にお知らせします。

また、採択となった請願や陳情については、市長など関係機関に送付しています。

※令和5年第3回定例会で審査される請願・陳情は、8月24日(木)午後5時まで受け付けます。

会派代表質問

創 政

森 建二 議員



### 市の観光ビジョンと「道の駅」、 障害者の就労支援状況を問う

○観光行政について

問 この3月、「大網白里市観光ビジョン」が発表された。大変素晴らしい内容。私も旅行会社に25年勤め、自治体と協働して観光客誘致事業を長くやらせて頂いた。観光で来てくれた人が街を見て、最終的に移り住んでいただく。これがミッションなんだと思います。改めて白里海岸の観光ビジョンとは。

答 観光入込数が年々減少し、夏の海水浴客も減少傾向にあり、3月に大網白里市観光ビジョンを策定しました。白里海岸において①新たな資源の開発・ブランド化②拠点の整備③効果的な情報発信とプロモーション手法の最適化④連携の強化、4点を柱として取り組んで参ります。

他市では「リアフリービーチ(障害者や高齢者が快適に楽しめる)」や「ブルーフラッグ認証取得(きれいな海岸)」など特徴ある取り組みをする自治体があります。ぜひ研究を白里海岸は、整備された駐車場や広いスペースを持つなど突出した潜在能力を持っています。観光に携わる人たちは、他の観光地を良く見て我が市と比較するべきです。わざわざ選んで来てもらえるか?稼げる市を目指して頑張ります。

○「道の駅」要望について

問 この2月「白里地区へ道の駅を」と商工会から要望があったと新聞報道にありました。具体的にどの様な提案、要望があったのか伺います。

答 白里地域の活性化のステップとして、関係人口の増加や、定住人口の増加に至る好循環を作り出すことにより市全体への様々な波及効果が見込まれる道の駅を整備するよう、市に要望するものです。具体的な施設

設の内容については特に要望書には記載がございませんでした。

私も旅行業界に長く居り、道の駅の栄枯盛衰を見てきました。平成5年当初、全国で103駅だったものが、この2月で1,200駅を超えたそうです。大網白里市は後発組。民間の「尖った提案」を行政が後押しする形が望ましいのではないかと。行政主導だと事業者が甘えてしまい上手く行かない事例が散見されます。道の駅といえども市場の原理に巻き込まれる商業施設。簡単に黒字化を見込める物ではないはず。よそ者・若者・ばか者」と言われますが、地元だけでなくオープンな状況で話し合っ決めて行くべき。後々これが財政上の重荷になつては本末転倒。十分な議論と検討を願います。

○障害者の就労支援について

問 障害者とその家族が孤独に陥らない様に、就業して社会との関わりを持つ。重要な事だと思います。市の障害者手帳の所持者は2,586名だそうですが、そのうち稼働年齢層の18歳~65歳未満の方の数は。また就労に動いている人の数は。

答 稼働年齢層の合計は1,179人。就労サービスを受ける方の全体数は統計が無いが、就労継続支援の利用者は4月現在で148人です。

問 先進地である鎌倉市や総社市の様に就労の目標数値を掲げる等して市の価値を高めてはどうか。

答 本市も、先進地の事例等を参考に調査研究等して参ります。※その他、○自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進(デジタルビジョンの作成)キャッチレス決済の導入、○移住・定住について、問い質しました。

### 関連質問



北田 宏彦 議員

問 厚生労働省は1人の女性が産む子どもの数を示す合計特殊出生率が2022年は1.26だったと発表し

た。低下は7年連続で新型コロナウイルス禍での婚姻数の低迷などが影響した。社会や経済の活力を維持できるかの瀬戸際であり、出産や子育てなどへの若年層への経済不安を取り除くための対策が急務となる。みどり丘が丘市有地約3万6,000㎡は、企業誘致を目的とした売却を進めているが、周辺の住宅、小学校子育て交流センターなどの環境と企業立地のバランスを考慮し、企業誘致が難航している。また、みどり丘地区は子育て環境の充実した住宅地であり、子育て世代の人口が高いが、売地がほとんど無いため、市の施策が生かされていない。そこで、みどり丘が丘市有地に移住・定住の促進を図るため、民間企業の持つ経営ノウハウや資金を活用したPFI住宅事業、定住促進住宅事業など官民連携の取組を導入してはどうか。

答 企業誘致には、隣接する小学校の教育環境や周辺の住環境、自然環境との調和に十分な配慮が求められるなどの課題があり、誘致に至らない。移住・定住の促進につながるPFI住宅の導入可能性について先進事例を調査研究してまいります。

茨城県境町では、PFI手法で建設費約45%を社会資本整備交付金で、約55%を民間事業者が資金調達し住宅を建設した。建設、維持管理費、町の持ち出しゼロ円、財政負担の軽減、民間活用による低廉かつ良質な公共サービスの提供、民間への新たな事業機会創出、経済活性化への貢献。本市の厳しい財政状況でも、予算を使わず遊休市有地を活用した移住・定住施策を進めて頂きたい。

住に

### 関連質問



山下 豊昭 議員

問 会派創政の山下豊昭です。引き続き、関連質問をおこないます。引き続き、未完成の空き家実態調査の現状の進捗状況と結果について、令和元年度より4年度の地区別空き家状況実態について併せてお答え下さい。

答 はじめに空き家実態調査について山武郡市広域水道企業団の水道閉栓情報に基づき令和5年4月末の状況で対象の内1,182件が終了しており、残り171件については場所の特定が困難で現地の情報を基に6月中旬に確認終了予定です。続いて地区別の空き家状況については前回同様、総務省の5年毎の調査のため、新たな推移データはなく、地区別空き家数についても同様でございます。

問 次に、空き家対策協議会設置と対策の認識、今後の予定を伺います。

答 本年第4回定例会で空き家対策協議会の条例化を予定、年度内に協議会設置、空き家対策計画の策定に着手して参ります。

問 実態調査終了後直ちに対策協議会を設置し、空き家対策計画を策定させる訳だが、現時点における認識を含めて支援制度の内容と利活用について空き家バンクの内容と利活用について伺います。

答 まず空き家の具体的支援策についてお答えいたします。国の支援制度の補助金を有効活用すべく、今年度空き家対策計画の策定をした上で各支援策に取り組みで参ります。空き家バンク利活用は平成29年度より運用し成約数は8件で、今後もホームページ掲載や空き家サイト活用を強化いたします。分かりました。担当課の皆様には本気で実現可能な人口減から人口増への取り組みに向け今一度の要望と期待を込めて課題推進に向けたエールとさせていただきます。質問を終わります。

個人質問

### 庁舎増築を見直し、民間商業施設の 空きスペース活用の検討を!

黒須 俊隆 議員



問 現在、本庁舎の大型増改築が進められているが、4期に分けられた工事計画の1期すら財政的に苦しい状況だ。エレベーター設置など緊急的整備を優先し、プレハブ庁舎増築などを見直し、民間商業施設の空き店舗利用を考えてはどうか。

答 庁舎の分散化に関する課題としては、移転に必要な広さを始め使用できる期間、また場所の分かりやすさや駐車場の確保などが挙げられます。デメリットとして複数の物件を本庁舎内で済ませることができないといったケースが考えられます。

行政効率の面から迅速な事務処理意思決定ができるのか、施設の維持管理、移動経費、人件費の増加が考えられること、危機管理として、災害時での円滑な対応ができにくいことなどが懸念されます。

問 本庁舎から比較的移動しやすい課は何か。

答 本市では、過去において、業務機能を分散化した事例として、下水道課、農業振興課、商工観光課及び生涯学習課スポーツ振興室などを本庁舎以外の施設へ配置したところであります。今後における本庁舎以外への機能移転については、移動の容易さ等も含め、具体的な検討は行っていないのが実情です。

問 民間商業施設の空き店舗状況を市は調査したことがあるのか。

答 市役所周辺の空き店舗の状況に係る調査は行っておりません。

の移転について考えを聞きたい。

答 図書館がショッピングモールなどの商業施設内に併設された事例として、今年4月に富津市の図書館がイオンモール内に開館しています。富津市の事例は、空きスペースの活用を模索していたイオンモール富津からの提案を受け、図書館を新たに建設するよりも初期導入費用が抑えられるなどの理由から、イオンモール内に開館したと聞いています。

図書館の移転につきましては、利用可能な面積や静粛性があるか、書架や書籍の重さによる床の耐荷重があるかなど、移転先が図書館機能を有しているかといった課題があります。また、図書館の運営体制などの見直しだけではなく、市役所の組織改革や公共施設の在り方なども考慮しながら、他自治体の先進事例などを参考に、移転の可能性について研究してまいります。

庁舎整備は、これから1期工事が始まり、3期4期工事までは時間的に余裕がある。市の施設を民間商業施設に分散できないか具体的な調査を行ってみたい。

「富津市図書館整備基本計画」によると、独自に同じ規模の図書館を建設する場合は12億円かかるものが、イオンモール内に設置する場合は、1億5,000万で済むとある。イオンモール側にとっても集客増が見込まれ、空き店舗を解消できるメリットがある。

庁舎や図書館などを自前のビルに持たなくてもよいという例は、今後は多く出てくるのではないかと。大綱図書室を移動すると、保健文化センター12階に市庁舎が入ることができるとデメリットも少ない。

会派代表質問

自 民

土屋 忠和 議員



### 特色のある街づくりと行政ニーズの 多様化を目指して

○行政サービスに添わない入り口の  
階段について

問 経田交差点に位置する大網白里市分庁舎の屋外正面の急な入り口階段が問題と考えます。市民の皆様がご存知のように、この急な階段を上り下りしなければ、目的の行政窓口には行けません。長さ約15m、高さ約6m、34段の急角度な階段が実在し、市民の方々、農家に携わる方々の困っているお声やご意見を多く、聴取しました。この急な階段の本当のありさま、実態をお伺いします。

答 来訪者の方々へ様々なご不便をおかけしている事は承知しております。現時点において、エレベーター設置等の改善策に向けた具体的な検討には至っていない状況にあるとこの事です。

この階段をこれ以上、善くする事は出来ないと思えます。せめて、上の階の職員と直接のやり取りが出来るように駐車場脇のインターホンを一目で解り、明らかな位置に変える事を要望致します。

○分庁舎の外壁を利用した野外広告  
工事と企画案について

問 分庁舎外壁は国道に向き、車が縦横無尽に通い、公衆面は良好です。私の企画として、行政情報、イベント情報、功績を記念した市民の名前や市民社会のための政策目標を提言発表したりと、1年間を通じて懸垂幕型の看板を設置出来たら、特色のある街づくりに繋がり、地方自治の活性化の一助となると仮想します。担当課のご意見をお聞かせ下さい。

答 議員ご指摘のとおり、分庁舎は国道と県道の交差点にあり、交通量も多く非常に目立つ事から、懸垂幕設備の設置については有効な手法と

認識しております。

○農業振興課、商工観光課の移動の  
推進について (現在、分庁舎窓口)

問 2つの課、農業振興課と商工観光課の窓口の効率化、人件費の適正化を将来的に見据えるなら、職員の日常勤務において分庁舎と本庁舎の移動に費やす時間の軽減による経費の削減は図れると思えます。この2つの課が本庁に移転されるだけで、農業従事者の足取りの軽さ、しっかりと膝を交えた農業就労等のミーティングの実施、商工業者の機を高めたり、観光に携わる方々の本市来訪による賑わい等、基幹産業として成り立たせるためにも急務な配置転換が必要だと考えます。そして、耐震構造等に併い「本庁舎」の改修工事が近年中に計画されております。その本庁舎の改修工事を足がかりに総合的なご意見をお聞かせ下さい。

答 本庁舎改修事業では、第3期において1階部分のフロアの床を中心とした改修を計画しています。窓口業務を継続しながらの改修施工が出来ない事から、仮事務所を敷地内に設置した上で、1階北側フロアと南フロアの事務室を順次移動させる事で改修工事を進めて行く考えです。

なお、改修後の仮事務所ですが、現本庁舎の狭あい(手狭)な状況を解消するため、庁舎の一部として活用する方針です。今後の各課等の事務室の配置については、議員からのご提案を含め、検討して参りたいと考えております。

○太陽光発電施設と規制と問題点について

問 地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量、2050年までにゼロにする事を目指す地方自治体

は、ロカーボンシティが増えております。現状、各課、各出張所も電気代高騰が報告されており、その電気代の削減と災害時の蓄電機能を見通して、本庁舎屋上並びに屋根へ太陽光発電設備を設置する事は、環境省の推奨の意向も考慮し導入すべきだと考えます。本庁舎の改修工事に併せて担当課のご意見をお聞かせ下さい。

答 仮に屋上へ当該施設を設置するとすれば、応分の荷重増に伴い、構造的にさらなる補強が必要であり工事が嵩む事から、やむなく断念したところであります。しかしながら、今後太陽光発電施設の導入は、地球温暖化対策の観点からも重要な事案であると認識し、庁舎の屋上に限らず各公共施設への設置導入に向けて費用対効果等も含めて検討して参りたいと考えております。

○各課公用車の利用状況について

できる限り年式の古い車は、電気自動車(EV)と入れ替えをして頂き、ゼロカーボンの推進とイメージアップ(マリンデザイン)効果を公用車に求め装備機能改善を要望しました。

○賞味期限の近づいた非常食の処理の  
斡旋と発案をさせて頂きました。

問 令和元年9月9日に上陸し千葉  
県を中心に甚大な被害をもたらした  
台風15号、翌年2月に令和元年房総  
半島台風と命名された。この台風  
は、千葉県の内房を中心に家屋の損  
壊や洪水、停電、断水と各地で大き  
な被害を受けたが、本市の主な被害  
は、長期にわたる停電と、追い打ち  
で起こった断水で市民誰もが大変な  
苦勞をされ、忘れ得ない災害となっ  
た。そこで伺いたい。現在、災害発  
生時の情報収集・伝達方法はどのよ  
うになっているか。

**関連質問**  
小倉利昭議員

答 台風や大雨など風水害における防災上の情報収集は、気象庁や千葉県からの専用回線を用いたファックスやメールにより情報を収集しています。

台風の接近や大雨に伴う対応としてはこうした情報を基に状況に応じた配備態勢を取り、市民に対しても自主的に避難ができるよう避難場所を開設し、早めの避難を呼びかけることとしています。なお、市民への災害に関する情報の伝達方法としては、令和元年台風を教訓として、防災行政無線をはじめ、市ホームページや防災メール、ヤブー防災、ツイッターなど様々な情報伝達手段を組み合わせて発信することとしています。

問 次に、令和元年房総半島台風では本市は長期の停電で真夏のような暑さの中、冷房もできず多くの市民が大変な苦勞をされたわけだが、今後も同じような長期の停電が起こってしまった場合の対策をどのように考えるか。

答 災害時の停電対策における課題や要因として、復旧の遅れによる長期停電、住民等への支援、庁舎・重要施設の停電対策に分類することができました。まず、復旧の遅れによる長期停電の対応策は、東京電力の連絡調整員を通じて情報共有を密にし、迅速な復旧作業に努めるほか、停電の原因となる倒木の発生を未然に防ぐため、市道沿い私有地の伐採を行うこととしています。住民等への支援における対応策としては、防災行政無線による停電情報等の定期的放送の実施、停電地域への広報車や消防団車両による巡回放送の実施により情報提供を行ってまいります。

最後に、庁舎・重要施設の停電対策としては、電源車配備の優先順位を事前に決定し、東京電力に迅速な要請ができるようにしています。

個人質問

宮間 文夫 議員



### これからの大網白里市!

問 大網駅南側の開発計画について

答 市といたしましては、大網駅南地区を、駅前という立地特性を生かしたにぎわいのある魅力的な都市空間の形成を図り、駅利用者の安全・安心を確保するとともに、本市の定住促進や地域活性化に資することを目指しまして、大網駅南地区まちづくり協議会のご意見等をお聞きしながら、大網駅南地区まちづくり構想の策定を進めてまいりたいと考えております。

問 防犯カメラについて

答 市では、防犯カメラの設置について平成30年度に東金警察署と協議し、防犯カメラ設置計画を定め、令和元年度に駒込交差点に防犯カメラを設置いたしました。近年の市内の犯罪発生状況などを踏まえ、犯罪抑止に有効な防犯カメラ設置について、東金警察署と協議を進めてきたところでございます。

問 大網病院について

答 職員に対する不満が少なからずあることも事実でございます。当院では、皆様の声を投書していただく仕組みを設け、不満の声などがあれば真摯に受け止め、患者さんとの信頼構築に向けて、誠意を持って対応するよう努めているところでございます。今後も、市民並びに地域の皆様から信頼される大網病院となりましますよう、院長を中心として一致団結し、地域医療の充実に取り組みまいりますとともに、患者さんとその家族に寄り添った対応を心がけてまいります。

問 中学校の部活動について

答 活動については、部活動ガイドラインに示された内容に沿って活動計画を定め、平日2時間程度、休日

は3時間程度の活動を行っております。また、指導に当たっては生徒の心身の健康管理、活動時における事故防止に努めるとともに、体罰やハラスメントを根絶するよう、教育委員会としても各学校に働きかけているところです。次に、顧問につきましては、教職員は部活動専門の教職員ではないことから、今まで教職員自身が経験してきたことを生かして経験のある種目の顧問を務める教職員もおりますが、これまで全く経験のない種目の顧問を務める教職員もおります。指導に当たっては、経験のあるなしにかかわらず子どもたちが充実した活動を行えるよう、また安全に活動を行えるよう、各種講習会等に参加したり自ら指導法を学んだりするなどして、担当する部活動の顧問としての責任を果たせるよう各自努力していると伺っております。なお、担当顧問が不在時においては、生徒の安全を第一に考えることから、原則部活動は行わないことになっております。

問 通称産業道路の水路改修について

答 市の状況把握につきましては、当該排水路を全線にわたり市職員により確認し、損傷している箇所などを千葉県に報告し、情報の共有を図っております。また、市民の方からの通報により新たに把握した箇所につきましても、その都度現地確認の上、千葉県へ報告を行っているところでございます。今後の整備につきましては、千葉県からは早期改修に取り組みしていくと伺っております。市といたしましては、引き続き計画的な事業促進を図っていただくよう、県へ要望をしております。

会派代表質問

市民の皆様への安心・安全を守り  
住み続けたいまちづくりをめざして

公明党

上代 和利 議員



問 令和5年3月末までの大網地区、増穂地区、白里地区の高齢化率について

答 令和5年4月1日時点の各地区の高齢化率は、瑞穂地区及び山辺地区を含む大網地区が27.1%、増穂地区41.8%、福岡地区を含む白里地区44.4%となっております。市全体の高齢化率は、33.8%となっております。

問 独居の高齢者人数と75歳以上の高齢者世帯数とその方々の見守りについて

答 65歳以上の高齢者につきましては、毎年民生委員の協力を得て実施しています。「一人暮らし高齢者実態調査」において、令和4年度は2,165名でございました。また、75歳以上の高齢者世帯につきましては、住民基本台帳上の世帯数になります。令和5年4月1日時点で1,232世帯でございます。なお見守りが必要な高齢者につきましては、民生委員の月1回程度の訪問に加え、個々の心身の状況に応じて地域包括支援センターや在宅介護支援センターの専門職員による訪問や電話での見守りを行っている他、社会福祉協議会各支部などの方々による見守りも行われています。見守りが必要な高齢者のうち緊急時の対応に不安のある方に対しては、緊急通報装置を貸与し、月1回程度の安否確認の実施や急病時など緊急事態が発生したときの通報体制の確保に努めております。さらには、郵便局、宅配業者など民間事業者と協定を締結しており、日々の見守り活動を行っているなどしております。

問 生活支援体制整備事業について  
答 生活支援体制整備事業における

高齢者に対する困りごとのニーズの把握に当たりましては、令和元年度に一人暮らしの高齢者の困りごとについて、民生委員の協力を得て聞き取り調査を実施したところでございます。令和3年度に、ふれあいいきいきサロンの参加者を対象に同様のアンケート調査を実施しております。さらに、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のため、昨年の12月に高齢者や介護施設事業者等を対象にしたアンケートを実施し、支援等に対するニーズの把握に努めております。今後、要支援者を対象にした地域ケア会議、さらに各地域の多様な主体で構成する第2層協議体の話し合いの場での聞き取りなどにより、多くのニーズ把握に努め、地域でささえあい活動を通して、高齢者支援につなげて参りたいと考えております。

問 地域包括支援センターと大網病院との連携と今後の在宅医療について

答 大網病院に入院や通院している患者や受診相談等で支援が必要となる方に対しては、医療相談員と情報共有を図りながら、それぞれの専門性を活かし、相互に連携を取り合い、適切な医療やサービスへつなげる支援を行っております。在宅医療につきましては、入院や通院が困難な方に対し、住み慣れた地域で安心して生活できるように、医師による訪問診療や往診、看護師による訪問看護などの必要な医療や介護サービスが一体的に提供されるよう、今後、関係機関と連携強化を図っていききたいと考えております。

問 本市環境基本条例の骨子について

答 大網白里市環境基本条例の骨子は、基本理念、責務を定める他、基本計画策定などの事項を進め、市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としている。環境基本条例に基づき別に環境保全条例を定め、規制や措置を講じていきます。再生資源物の屋外保管に関する条例について

答 リサイクルが推進されており、有価物である金属スクラップ等の屋外保管の施設が増えている。その一部で事故の発生などの問題が指摘されており、千葉県が「千葉県金属スクラップヤード等適正化条例」の制定を進めているので、その状況を注視していきます。  
他にスマホを活用し、市の防災情報をもとめて入手できるような防災対策を推進できないか。また東金九十九里有料道路の一時避難場所の活用について、避難所になっているパチンコABCの状況についてを質問させていただきます。

関連質問  
引問真理子議員



問 がん検診の推進、受診率向上への取組について、がんは日本で40年以上にわたり死因の第1位となっており、男性の3人に2人、女性の2人に1人が生涯のうちにかかることと、国民の命と健康を守るため、がん対策を一段と強化すべきとお考えです。早期発見は、その後の生残率にも影響するため、普及啓発の強化が必要になります。

答 がん検診の受診率は令和4年度が9.94%で令和元年度と比べ、27ポイント下がった数値となっております。本市の小・中学校では、国

や県からがん教育推進のために提供されている教材等を参考に、子どもたちのがん教育を行っている。がん予防に対する正しい知識の普及は、どの年代の方においても大切であると認識しており、今後も引き続き啓発に努めてまいります。  
厚生労働省では、ナッジ理論を活用したがん検診の受診率向上を推奨しております。相手への働きかけ方を工夫することで自発的な行動変化を導く、こうした考え方を柱とする行動経済学、ナッジ理論はがん検診の受診率を向上させる周知方法にも活用できます。  
問 市の健康ポイント事業がありますが、がん検診はポイント2倍にするなどの工夫や定期的に医師やがん経験者の外部講師を迎えた市民講座の開催等も意識啓発になると考えますが、市の見解を伺います。  
答 健康ポイント事業の見直し及び市民講座の開催につきましては若年層への予防啓発や、市民の皆様へのがん予防対策の一環としての受診率向上に向けた取組として、今後検討してまいりたいと考えております。  
問 脳ドック・带状疱疹ワクチンについて関心のある方も多く大網病院でも検査受診ができることを、来院した方へ、積極的に啓発していただきたいと思っております。  
答 ホームページ及び広報紙を活用してアピールするとともに、来院した方に関心を持っていただけるよう周知してまいります。  
带状疱疹治療では、外来受診、入院、神経痛が残存する場合の治療に係る医療費等、結構な医療費負担になります。带状疱疹ワクチンの公費助成も、是非、検討していただきたいと思っております。また、大網白里市の観光ビジョンと街の魅力発信についても質問いたしました。

個人質問

新ごみ焼却場建設問題、  
高齢者対策について

蛭田 公二郎 議員



問 現在、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルなどについては有料のごみ袋に入れて、青い袋などに入れて出していますが、もともとごみ袋ではなくて資源化になるものだから、これは有料の袋でなくても良いのではないかと。指定袋を使用しない事例もありませんが、費用負担や路上における安全性などの問題もありますことから東金市外三市町清掃組合及び構成市町と今後研究してまいります。

問 新ごみ焼却場建設は当初計画を大幅に上回る建設費、これが問題になったことから、計画は一旦中断ということになっております。しかし、この間の経過を市民は全く知らされていません。一体当初計画がいくらになったのか改めて説明頂きたい。  
答 当初15.4億4千万円に対し、令和5年4月時点で約22.8億6千万円とのことであります。施設本体の設計及び建設工事にアクセス道路整備、地元対策費、環境影響評価対応費、現施設の解体工事費などを加えた総事業費18.1億5,400万円に対し、令和5年4月時点で約25.9億9,700万円とのことです。

問 48%の増加だが、果たしてどうなのか?日本建設業連合会、建設業の連合体が出した資料、2023年5月版では、この27か月で建設資材の高騰、労務費の上昇の影響により、仮設費や経費などを含めた全建設コスト平均は16%から18%上昇だと書いてある。48%もの上昇に疑問。  
問 大網白里市の負担はいくら上がることになるのか。  
答 当初約51億円に対し令和5年4月時点で約78億6千万円とのことであります。  
公正取引委員会が2011年11月に大手プラントメーカー5社を独占禁止法違反で、総額269億円の課徴金納付を審決したということで、1件の課徴金としては過去最高額になった、こういうことがありました。大手5社が1994年から98年まで、各自治体が発注するごみ焼却場の建設工事の入札で、あらかじめ発注予定者を決めていたということです。  
市民の血税、これを投入して行う工事です。1円たりとも市民の血税が無駄になることのないように、しっかりとしたチェックを要望します。  
問 高齢者対策だが、緊急通報装置の貸与の推移、また、アルソックの駆けつけの実績について教示頂きたい。  
答 緊急通報装置の貸与は、令和2年度が275台、令和3年度が257台、令和4年度が264台となっております。利用者に、委託している警備員が駆けつけた過去3年の実績につきましては、令和2年度が8回、令和3年度が4回、令和4年度が7回です。  
問 補聴器購入に対して助成を行っている自治体が今ほとんど増えている、去年はその前の年の3倍以上に増えています。助成の対象や助成額は自治体によって様々ですが、船橋市、印西、鎌ヶ谷では、2万円の助成浦安では3万5千円とか、そういう助成があります。本市でもぜひ、この補聴器購入の際の助成をして頂きたい。  
答 助成を検討するに当たりまして、近隣自治体の動向を注視してまいりたいと考えております。

会派代表質問

### 市民の安全、子ども達の安全

堀本 孝雄 議員



問 侵食対策(白里海岸)の進捗状況について

答 九十九里浜侵食対策計画につきましては、令和2年から30年間の計画で、砂浜幅40メートルを確保することを目的としており、実施に際して、第一期実施計画では、汀線の後退が著しく侵食が顕著であり、かつ後背地に集落がある箇所や海岸利用が多い箇所から対策を実施し、対策を実施しない期間は汀線の変化を観測し、汀線後退が顕著となった場合は対策を実施することとされています。

現在、白子海岸、一松海岸、一宮海岸については、養浜工事を実施しており、本市及び九十九里町の海岸においては、地形変化を知る上で必要となる測量調査が令和3年度に実施されたところです。

今後については、地形や地質、生物などの追跡調査を行い、効果、影響を検証し、見直しを含め、関係者間で協議を行いながら侵食対策を継続的に行っていくと事業主体である県のお答えであります。

市としては、自然な形で海岸侵食を防ぐことが理想であることから、可能な限り養浜を拡大した上で、構造物の対策をお願いしたいと要望しているところです。

問 津波避難施設整備計画では、主に北今泉地区対象の北避難路、南今泉地区対象の中避難路に、高台などの施設設置計画があるがどうなっておりますか伺います。

答 津波避難施設としての高台設備につきましては、これまで津波避難タワー1基、築山1基が完成し、残る2か所の整備につきましては、津波避難タワーの形態で整備を行う方針

針となっております。

市としては、その設備の重要性を認識していますが、財政事情を考慮すると早期の高台設備は困難と考えます。当面は津波避難ビルである白里ダイヤモンドマンション及びプラセル九十九里を活用しながら、また、避難経路の安全確保のため、北今泉の北避難路の電柱のない区間に蓄電池式LED灯15基を設置、令和5年度に、南避難路の誘導灯の設置を計画しております。

問 北海道・三陸沖後発地震注意情報の運用が始まっているが、本市の対応はどうか。

答 注意情報は、後発する地震による被害を軽減するため、巨大地震が発生する可能性が高まっている場合に発表され、千葉県では、本市を含め14市町村が想定される地域に指定されています。この注意情報が発信された場合、その後1週間程度、平時よりも巨大地震に備える必要があります。注意する期間が終了するまでの間、すぐに避難できる態勢での就寝や非常持ち出し品の常時携帯など防災対応を呼びかけるとともに、自主避難を希望する高齢者等の要配慮者のために避難所を開設することとしています。

問 空き家対策の今後の取り組みはどうか。

答 空き家対策協議会の設置につきましては、本年第4回定例会での条例案の提案を予定しております。その後、今年度内に空き家対策協議会を設置し、対策計画の策定に着手していきます。

空き家対策推進に関する特別措置法の改正案が閣議決定され、内容は空き家所有者のより責任の強化、N

PO法人、社団法人等による利用拡大、固定資産税の特例解除等が盛り込まれているようです。特措法の改正によりさらに空き家対策が推進し易くなったと思われます。本市においても、本年度発足するであろう協議会における策定業務を的確にスムーズに進めるには、単に空き家の件数だけでなく、的確な情報管理が必要と思われるので、協議会の有効な資料づくりをお願いする次第です。

問 次に通学路との安全対策についてお尋ねいたします。

答 本市では、平成26年度に策定した通学路交通安全プログラムに基づき、毎年関係機関と連携して通学路の合同点検を行っております。その結果に基づき必要な安全対策を検討実施しております。

令和3年度に実施した緊急一点検については、対応が必要な危険箇所は26か所であり、24か所については、令和5年3月末まで全て対策が完了しています。残る2か所については、道路拡張等で、すぐに対応困難であるため、見守り活動や交通安全教育で対応しているところです。



### 関連質問

問 津波避難施設がまだ設置できない理由を再度お答えいただけますか。

答 津波避難施設整備計画に基づき残る2つの施設の整備が進まない理由は、財政事情によるものです。財政事情と人命のどちらを重要視するのか!東日本大震災で多くの命が失われている。亡くなられた方々の無念の思いをしっかりと私たちはくみ取っていかねばならない。もしも万が一津波が発生し、多くの犠牲者が出た場合、「どうして造らなかつたんだ」と言われて「お金がありませんでした」と言っのか。

理由にならない。ふるさと納税のお金もあり、やる気になればできるではないか!しっかりとやるべきことはやっていくのではないかと。

問 通学路の安全対策について、学校ではどのように指導しているのか。

答 小学校では実際に歩きながら、設置してある道路標識の意味などを学習したりしています。安全マップを作成して児童の危機回避能力を高めたりしながら、危険箇所等の情報が入った場合などは注意喚起や指導を行っています。中学生には自転車走行のルールなど指導しています。また、部活動の終了時間や下校時間においても、日没前に自宅に帰れるよう配慮したりしています。

通学路の安全対策は内外ともやらないとうまく機能しない。内は学校側による子どもに対しての安全・安心を図る指導、外では危険箇所を調べたりする地道な作業を行っていく。子どもたちの通学路の安全対策を私たち大人が一生懸命になり徹底的に対応していかなければならない。引き続き全力で行っていただきたい。

問 国道128号と白里地域の活性化についてはどうなっているのか。

答 国道128号では企業誘致条例などの大幅な見直しを行い、大型店舗店舗等が出店しやすい環境整備に努めてきました。また、国道128号の4車線化により、企業誘致条例に基づく優遇制度のPR活動を推進するとともに、沿道地域の活性化を図っていきます。白里地域の活性化ですが、地域交流拠点の整備を考えたいです。

企業誘致により、本市も発展しバイパス沿いも賑やかに。また、地域交流拠点の道の駅だが、6、7割は地元利用、地元の方が利用しない限り経営は難しい。また私は28箇所すべてに見てきた。市職員が県内29箇所すべての道の駅を見なければダメなのだ!

個人質問

### 市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践!

林 正清子 議員



問 市長の「道の駅」構想、具体案について

市長の道の駅については「観光交流拠点の整備を白里地区活性化の起爆剤に」との公約にあるが、基本計画策定から10年経過した「道の駅」整備について市長の構想、具体案をあらためて伺います。

道の駅構想になると、白里地区の活性化はもとより市全体の活性化に繋がる構想が求められ、他にも防災を兼ねた地域課題解決型の新しい道の駅構想も生まれています。

答 先の公約にも掲げましたが、人口減少や少子高齢化が進む白里地域に、1年を通して訪れることが出来る交流拠点を整備し、新たな賑わいの創出や雇用の確保、さらには観光振興など、地域全体の活性化に繋がっていきたく考えております。地域交流拠点整備の取り組みを進めるに当たり、観光客など地元以外の方々を訪れていただくことはもちろんですが、何よりも地元の皆様に日頃から愛され、利用していただける施設でなければ、安定かつ持続的に運営していくことは不可能と考えます。

このため、まずは地元区長をはじめ、市内の商工事業者や農業関係者、水産加工事業者など、地域の皆様からニーズやご意見を伺って参りたいと考えております。

その上で検討委員会を組織し地元の皆様や検討委員会においていただいた意見や要望を踏まえ、白里地域の活性化のためにはどのような施設がふさわしいのか、課題を整理した上で適宜議会にも報告しながら丁寧に進めて参りたいと考えております。色んな角度から本市に合った「道の駅」構想。市民及び企業、市議

会、行政が三位一体となり、型破りに、かつ市長の力強さのもとに検討を重ねて、スピード感をもって本市の目玉になる道筋が出来ます様、私も貢献させていただきます。

問 千葉日報にも市として検討委員会を立ち上げると発表されていたが、従来通りでなく型破りな検討委員会が求められると思います。

高校生や社会人の現役で働く方々、様々な業種等これまでの委員会ではなくオンライン会議ありきで進めていけたら新しいものが生み出されるものと思います。

答 検討委員会設置の目的である地域交流拠点施設の整備方針や基本計画を策定するに当たりましては、広く多角的な意見が必要であると考えております。

なお、現時点での構成は、学識経験者・地区の代表者・関係諸団体の代表者・公募委員などを想定しておりますが、今後、地元区長をはじめ各種事業者や市民の皆様のご意見を伺っていく中で、検討して参りたいと考えております。

問 様々な助成金の活用など、資金調達、採算等の計画があれば伺います。

答 資金調達や採算等の計画は、施設の規模や内容によって異なるため、現時点ではございませんが、市の負担を少しでも軽減できるよう各種補助金の活用や、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行うPFI手法についても研究して参ります。

※ 他に、有事の際の各避難所対応について、大網白里市観光ビジョンについてなどを質問しました。

個人質問

十枝の森整備について

岡田 憲二 議員



問 五年第一回定例会にて私は二つの質問をした。一つは十枝の森入口に建立されている十枝雄三氏の胸像の真上に伸びている大木を伐採、撤去しなければ、台風等で倒壊した場合十枝雄三氏の胸像は破壊されてしまう。大木を伐採するのか十枝雄三氏の胸像を移設するのかということであったが、市側の結果はいかがか。答 枯れて倒木の危険性があることから早急な対策が必要と判断し、三月末に伐採を行ったところである。

市側の迅速かつ的確な判断には最大限の評価と致します。

問 今一つは十枝の森入口左側に市有農地約百坪があるが、そこを埋め立て駐車場にしてみたいと、十年前から十枝の森を守る会より要望が出されているが市側はいかなる対応をするのか、ということである。答 当該土地の転用は十枝の森の整備計画や方針等の位置づけがないので現時点では許可を得ることが困難。人間には動物に見られない感情として「思えばまた自分も思われる」ということがあるが、最近そのことが実現された。十枝雄三氏は旧福岡村長や県議会議員として、また自分の資産をなげうって両総用水の建設に尽力され、昭和三十一年に名誉町民第一号となつたまさに郷土の誇る偉人である。十枝雄三氏亡き後、次女の澄子さんより本市に十枝の森が寄贈された。生前より澄子さんは、「森は自然のまま残してほしい」との意向を示しておられました。十枝の森を守る会の皆様はこのことを知り「郷土の偉人を顕彰し、十枝の森は澄子さんの意向を守ることこそ大網白里に住む住民の責務である」との思いから会員の入替わりはありま



十枝の森入口にある市有地

したが、現在まで十枝の森を守る会として森の整備を続けておられます。県では、千葉県誕生百五十周年記念事業として県で受付けていた「ちば文化資産」がありますが、このことを知った市長は県に対して十枝の森を文化資産としてほしいと上申を繰返し県側に申し込んでいた旨を職員より伺った。このことにより十枝の森が千葉県の文化資産として追加選定されたということである。十枝の森を守る会の皆さんの思いを市長が受入れ、市長の思いを知事が受入れてくださったということでありまして、市長の思いを受入れていただき、市の思いを受入れていただき、今後は市長が知事の思いを受入れなければなりません。そうですね。いわゆるちば文化資産たる十枝の森が今や多くの住民が集う場所となっている現状に対して、駐車場もないようなところであるとなれば知事の市長への思いに反することになると私は思考致します。十枝の森を守る会の皆さんの十年來の思い、小さくてもいいから駐車場をと、この思いを受入れるべきときが今であると思致します。検討されますようにお願致します。次回にまたお尋ね致します。

令和5年市議会第2回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等

Table with columns for proposal number, name, and result. Lists 10 proposals that were approved by all attending members.

賛否が分かれた議案等

Table with columns for proposal number, name, and a grid of responses from council members. Includes a legend for symbols like '○', '×', '△'.

山武郡市議会議員研修会に参加しました

令和5年7月13日、山武市成東文化会館「のぎくプラザ」において、山武郡市議会議員研修会が主催する議員研修に本市議会から14名の議員が参加しました。東京都三鷹市職員を経て地域再生に取り組みされている、現ローカルファースト研究所長の関 幸子氏を講師として、「SDGsと地域社会」をテーマに講演いただきました。



議会日誌

- 令和5年(4月) 21日 全員協議会
(5月) 24日 議会運営委員会、全員協議会
(6月) 1日 市議会第2回定例会 開会
5日 一般質問 4会派9人
6日 一般質問 個人5人
12日 議会運営委員会、全員協議会
総務常任委員会
文教福祉常任委員会
20日 議会運営委員会、全員協議会
市議会第2回定例会 閉会
29日 議会だより編集委員会
(7月) 4日~6日 三常任委員会合同行政視察研修(北海道旭川市・富良野市)
13日 山武郡市議会議員研修会

編集後記

令和元年度、世界中でパンデミックを引き起こしたコロナ感染症も5月8日第2類より第5類に引き下げられ2か月以上経過しました。市民の皆様もマスク無しの方々も多く見られるようになりました。何となく息苦しさも無く爽快感があり皆様はいかがでしょう。毎回議会だよりをお読み頂き編集委員全員にて、感謝申し上げます。本年も梅雨入りと同時に日本列島を線状降水帯の影響を受け各地で浸水被害等も多く発生しています。今年は大規模台風の影響も予測されています。3年前の大規模大雨被害のことも思い出されますが各地域の皆様には台風には事前の地域に見合った対策準備を心掛けてまいりましょう。今後も議会だより編集委員一丸となり読みやすく分かりやすい紙面作りを心掛けてまいります。 山下 豊昭



市議会は、1年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載することができません。本会議の内容を詳しくご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階情報コーナーまたは図書室(保健文化センター2階、中部コミュニケーションセンター、白里公民館)で会議録をご確認ください。

議会だより編集委員会

- 委員長 上代 和利
副委員長 山下 豊昭
委員 土屋 忠和
委員 蛭田 公二郎
委員 堀本 孝雄
議会事務局 Tel (70)0390